

# アシックス (7936)

連結	売上高	営業利益	当期利益	1株益	1株配
23.12	5,705 億円	542 億円	353 億円	48.1円	16.3円
24.12	6,785 (+19%)	1,001 (+85%)	638 (+81%)	88.3円	20.0円
25.12 予	7,940 (+17%)	1,320 (+32%)	892 (+40%)	124.4円	32.0円
26.12 予	8,400 (+6%)	1,450 (+10%)	971 (+9%)	136.7円	34.0円

株価情報 (5/20時点)	
株価: 3,253円	時価総額: 23,330億円
株価純資産倍率 (PBR)	24.12実: 10.0倍
株価収益率 (PER)	25.12予: 26.1倍
自己資本利益率 (ROE)	25.12予: 34.0%
配当利回り	25.12予: 1.0%

大和証券予想 (25/3/18)、実績は決算短信。24/7/1付けで1:4の株式分割を実施。一株当たり数値は適及修正済み。

全カテゴリー全地域で増収。良好なモメンタムは継続している様子、今後イベントも目白押し

## 四半期で初の売上高 2,000 億円超となった

25/12 期 1Q (1-3 月) 決算は前年同期比 (以下、同) 20%増収、四半期で初の売上高 2,000 億円超となった。カテゴリー別では全カテゴリーで売上成長となり、特にパフォーマンスランニングは2桁増収、スポーツスタイル、オニツカタイガーは前四半期に引き続き約 50%の大幅増収となった。地域別においても全地域で増収を達成。アシックスジャパン、欧州、中華圏、東南・南アジアで大幅増収となった。粗利率は 55.8%と 1.3%pt 改善した。仕入為替の悪化を販売価格の適正化で吸収したとのこと。営業利益は 32%増となった。インバウンド売上が 150%増となったアシックスジャパン、ランニング専門店の伸長などが寄与した北米地域が営業利益の上昇を牽引した。

## 足元好調な実績、会社計画の上方修正に期待

関税政策の影響と輸送コストの増加等で年間最大 50 億円の見込むも足元の好調な業績を考慮し通期見通し、配当予想は据置とした。ただし、1 Q 経過時点で営業利益は通期計画に対し 37%の進捗 (昨年 1 Q は通期実績に対し 34%の進捗)。4 月単月の売上高も 9%増と足元好調。大和では関税影響を加味しても利益上振れを見込む。22/12 期、23/12 期、24/12 期と直近 3 期はいずれも期中 2 度会社計画を上方修正した (図表①)。好業績が続けば、会社計画の上方修正期待も高まると考える。

## 9 月に世界陸上開催。そのほかイベントも目白押し

6 月パリファッションウィーク期間中のイベント開催、7 月インベストメントデイ (テーマ: 中華圏・オニツカタイガー戦略)、8 月最新モデル「METASPEED RAY」、9 月東京世界陸上競技選手権大会 (以下、世界陸上) が開催予定。2013 年以降の世界陸上開催月と前後の月の計 3 か月間の株価騰落率を見ると、直近 3 回は 2 桁%超の上昇となっている (図表②)。豊富なイベントを背景に同社に注目が集まろう。(津田 遼太)

① 1 Q 実績好調。会社計画の上方修正に期待  
営業利益 (会社計画 VS 実績) の推移



(出所) Quick より大和証券作成。  
(注)25/12 期営業利益実績は 1Q (1-3 月期) のみ

② 世界陸上開催月前後の株価パフォーマンス



(出所) Bloomberg より大和証券作成。  
(注)2013 年以降の世界陸上開催日の属する月とその前後の月

株価推移 (週足) 52週高値: 3,842円  
52週安値: 1,810円



(出所) 東京証券取引所、修正株価ベース

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する決定は、銘柄選定を含め最終的にはご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行なう場合、約定代金に対して最大1.26500%（但し、最低2,750円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかには為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行なうにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前が必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行なうことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された各種手数料等（最大3.3%（税込）の購入時手数料、換金時には、1口（当初1口=1,000円）につき最大22円（税込）の解約手数料や最大0.5%の信託財産留保額、間接的にかかる費用として、運用管理費用（国内投資信託の場合には信託報酬として最大年率2.420%（税込）、外国投資信託の場合には管理報酬等として最大年率3.755%程度）、その他運用実績に応じた成功報酬やその他の費用・手数料等（運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。各商品の目論見書等のご請求は、大和証券のお取引窓口までお願いいたします。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

#### 【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株券等を合計5%超保有しているとして大量保有報告を行なっている会社は以下の通りです。（2025年4月30日現在）

L is B(145A) シンカ(149A) PRISM BioLab(206A) コムシスホールディングス(1721) エスコンジャパンリート投資法人(2971) サンケイリアルエステート投資法人(2972) SOSiLA 物流リート投資法人(2979) 日本アコモデーションファンド投資法人(3226) 森ヒルズリート投資法人(3234) 産業ファンド投資法人(3249) アドバンス・レジデンス投資法人(3269) アクティブ・プロパティーズ投資法人(3279) GLP投資法人(3281) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) 日本プロロジスリート投資法人(3283) 星野リゾート・リート投資法人(3287) Oneリート投資法人(3290) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) 日本リート投資法人(3296) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) 野村不動産マスターファンド投資法人(3462) ラサールロジポート投資法人(3466) スターアジア不動産投資法人(3468) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) 日本ホテル&レジデンシャル投資法人(3472) 投資法人みらい(3476) 三菱地所物流リート投資法人(3481) CREロジスティクスファンド投資法人(3487) ザイマックス・リート投資法人(3488) タカラレーベン不動産投資法人(3492) カヤック(3904) レナサイエンス(4889) ティムス(4891) ケイファーマ(4896) TDK(6762) アドバンテスト(6857) 太陽誘電(6976) 日本ホスピスホールディングス(7061) アストマックス(7162) クレディセゾン(8253) あおぞら銀行(8304) アドバンスクリエイト(8798) 日本ビルファンド投資法人(8951) ジャパンリアルエステイト投資法人(8952) 日本都市ファンド投資法人(8953) オリックス不動産投資法人(8954) 日本プライムリアルティ投資法人(8955) NTT都市開発リート投資法人(8956) グローバル・ワン不動産投資法人(8958) ユナイテッド・アーバン投資法人(8960) 森トラストリート投資法人(8961) インヴィンシブル投資法人(8963) フロンティア不動産投資法人(8964) 日本ロジスティクスファンド投資法人(8967) KDX不動産投資法人(8972) 大和証券オフィス投資法人(8976) スターツプロシード投資法人(8979) 大和ハウスリート投資法人(8984) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 大和証券リビング投資法人(8986) ジャパンエクセレント投資法人(8987) GREEN Earth INSTITUTE(9212) 帝国ホテル(9708)（銘柄コード順）

#### 【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、2024年5月以降下記の銘柄に関する募集・売出し（普通社債を除く）にあたり主幹事会社を担当しています。

D&Mカンパニー(189A) タウンズ(197A) フィットイージー(212A) タイミー(215A) シマダヤ(250A) オルツ(260A) リガク・ホールディングス(268A) グローピング(277A) キオクシアホールディングス(285A) 令和アカウンティング・ホールディングス(296A) dely(299A) visumo(303A) ミーク(332A) ジグザグ(340A) デジタルグリッド(350A) LIFE CREATE(352A) 矢作建設工業(1870) 明治ホールディングス(2269) エスピー食品(2805) SREホールディングス(2980) 東海道リート投資法人(2989) ヒューリック(3003) ジョイフル本田(3191) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) アイカ工業(4206) ぴあ(4337) ユー・エス・エス(4732) GMOインターネット(4784) JX金属(5016) インフロンティア・ホールディングス(5076) 京都フィナンシャルグループ(5844) 三井海洋開発(6269) キッツ(6498) KOKUSAI ELECTRIC(6525) ゆうちょ銀行(7182) スズキ(7269) アズワン(7476) 幸楽苑(7554) 梅の花(7604) 大日本印刷(7912) スターゼン(8043) サンリオ(8136) 三信電気(8150) 平和不動産リート投資法人(8966) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) テレビ朝日ホールディングス(9409) ソフトバンク(9434)（銘柄コード順）

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する決定は、銘柄選定を含め最終的にはご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。